

議題・報告提案書

第 31 回佐潟周辺自然環境保全連絡協議会において、以下の議題を提案します。

団体名	NPO 法人 新潟水辺の会
提案内容	提案
提案内容の題目	アオコと共存しながら 植生を取り戻す佐潟の挑戦 ～ラムサール条約の湿地認証自治体となるため～
提案内容の説明	新潟市は 2020 年 3 月、ラムサール条約の湿地自治体認証の国内初の候補都市となった。だが国内で 10 番目のラムサール条約の登録湿地である佐潟の現状は、2 年前よりハスが全く咲かずアオコが大量に発生し、年々アオコの臭いが強くなって来ている。これは潟の長年の水質悪化などによると考えられる。3 年前までであった、角田山をバックに満開のハス景色は今年も見られない。
解決に向けた提案	1) 佐潟の現状把握とアオコ対策を行うため、佐潟・御手洗潟の基礎データを収集整理し、過去いつ何処にどの様な植生や水位状況であったのかを調査・記録する。 (例えば、基礎データの収集整理と記録は、同地域にある国際情報大学に委託研究として市から発注出来ないか。) 2) 佐潟の主だった測定地点を設け、アオコ発生レベル調査と水温調査を行う。(同) 毎月、天候の良い日に空撮で定点撮影を行う。(同) 3) 佐潟の水質悪化を根本的に調査するため、現在の佐潟周辺自然環境保全連絡協議会の会員に、潟周辺の農業生産者に関する団体を加え、必要に応じて新潟県の水質に関する部署からも意見を伺いながら地域一帯の協力体制を図る。 これらにより、短期・長期の佐潟再生プロジェクトを立ち上げ水質悪化を防ぎ、アオコと共存しながら 植生を取り戻す佐潟の挑戦により、ラムサール条約の湿地自治体認証を確固たるものにし、市民の誇れる佐潟とする。
その他	
付属資料の有無	有 ・ 無